



- 人権教育は、すべての教育の基本という理念に立ち、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動などの特質に応じて、教育活動全体を通じて計画的に推進されるものです。

## 人権尊重の視点に立った学校づくり

(図は「第三次とりまとめ」より)

- 人権が尊重される環境づくり  
(安心して過ごせる学校・教室)
- 人権が尊重される人間関係づくり  
(互いのよさや可能性を認め合える仲間)
- 人権が尊重される学習活動づくり  
(一人一人が大切にされ、互いのよさや可能性を發揮できる授業)

生徒指導

人権が尊重される  
学習活動づくり

教科等  
指導

人権が尊重される  
人間関係づくり

★人権尊重の  
視点に立った  
学校づくり

人権が尊重される  
環境づくり

学級経営等

◎学校全体を人権尊重の視点で貫くことが人権教育の本質といえます。

## 教育活動全体を通じて人権教育を推進するための留意点

### ○人権教育の充実を目指した教科等指導

- ・各教科等の指導の中で、人権に関する知的理解や人権感覚を身につけることを意識します。

### ○人権尊重の視点に立った学級経営等

- ・教職員の姿勢そのものが人権教育の重要な部分であることをあらためて確認し、「隠れたカリキュラム」の視点で日々の実践を見返します。

### ○人権尊重の理念に立った生徒指導

- ・受容的・共感的な人間関係を形成するなどの取組を行い、いじめ・不登校の未然防止等を目指します。
- ・いじめや暴力をはじめ人を傷つけるような問題が起きたときは、学校全体として毅然とした対応をします。

## 人権教育は「普遍的な視点」と「個別的な視点」の両面から

人権教育は、普遍的な視点からのアプローチ（自尊感情、他人の立場に立てる想像力、コミュニケーション能力等の育成）と個別的な視点からのアプローチ（子ども、同和問題、外国人等の学習）の両面から取り組みます。

A小学校の  
重点の例

- 自尊感情
- 他者理解
- コミュニケーション能力
- 生命尊重

- 子ども
- 高齢者
- 同和問題
- インターネットによる人権侵害
- その他の人権
- 女性
- 障害者
- 外国人

児童生徒の発達段階と地域の実情等をふまえ、学習指導要領に照らして、重点をしばります。

### 人権一般の普遍的な視点

自尊感情、社会規範、人間関係調整力、生命尊重、アサーション、豊かな人間性、コミュニケーション能力、権利と責任、道徳性、自己理解と他者理解、法の下での平等、人権尊重の理念等

### 具体的な人権課題に即した個別的な視点

女性、子ども、高齢者、障害者、同和問題、アイヌの人々、外国人、HIV感染者・ハンセン病元患者等、刑を終えて出所した人、犯罪被害者等、インターネットによる人権侵害、北朝鮮当局による拉致被害者等 その他